

自然の中で元気に遊ぶ園児（裏表紙に関連記事）



P.2-3
充実の取組!!
3 常任委員会
集大成の調査研究

令和5年度 P.4-5
一般会計当初予算
96億9000万円
3つのまちづくりの実現へ

あがき あがき

No.107
2023
3月定例会
埼玉県小川町議会

わたしのひとこと



子供議会での小中学生の鋭く、幅広い質問に感心しました。
川村舞固さん

町民の声 P.20

「聴きます×つなぎます」

池袋から1時間ちょいの楽園で豊かな週末を過ごしています。
柳下晃美さん



一般質問 P.13~19

12 議員が届ける

町民の声と願いと想い

表紙に使用している画像は、季節の草花などを漉き船に混ぜて、楮の原料と一緒に漉き上げた小川和紙の「花入り漉き込み紙」です。部屋飾りのタペストリーや壁紙などに使用されています。和紙に合わせてあしらった2色は翠色と橙色。カワセミの羽色のような鮮やかな緑色と明るい色をイメージした鉱物の「鶏冠石」を粉末にした日本画の顔料です。

任期最終年度における3常任委員会の所管事務調査は「持続可能なまちづくり」が大テーマ「ゼロカーボンシティの実現に向けた取組」を、厚生文教は「生涯現役で活躍できる高齢者支援」を、

となった。総務は「激甚化する自然災害への対策」を、経済建設は研究の柱に据えて「住み続けられるまちづくりを」目指し、調査に努めた。



研究テーマ等
田中副委員長

新潟県中越大震災からの復興

- 先の中越大震災から18年。復興までの「新潟県小千谷市」の取組に触れた。
- 激甚化する風水害等への対策について「防災地域支援課」と意見交換を図った。山口委員



山口委員

ポイント



「小千谷市防災公園」

災害時の緊急避難場所・応急の仮設住宅建設用地として活用。

井口委員

ポイント



「自主防災組織」実質100%

定期的な避難訓練や避難所の設営訓練を実施。

笠原(英)委員

ポイント



「おぢや震災ミュージアムそなえ館」

各種の防災学習体験プログラムを展開。

島崎委員

まとめ

国が目指す国土強靱化と「災害レジリエンス」の推進



高瀬委員

頻発・激甚化する風水害と予測ができない震災と、いずれの災害も避けることができない中で、災害が発生しても「人命の保護」「被害の最小化」「経済社会の維持」「迅速な復旧と復興」といった国土強靱化(ナショナル・レジリエント)につながる各種取組の推進を期待する。



研究テーマ等
菅本副委員長

人生100年! 生涯現役で幸せ実感「ながの」

- 「長野市」で先駆的に進められている各種の高齢者施策・生きがいづくりに触れた。

ポイント



高橋(さ)委員

多様なニーズに応える「生きがいづくり講座」

健康づくりや介護予防、レクリエーションなど、豊富な講座を開催。

ポイント



高橋(功)委員

「ながのシニアライフアカデミー」の展開

地域社会で活躍できる知識や実践力を身に付けるための講義を実施。

ポイント



鈴木委員

「長野市高齢者サービスガイド」の作成

高齢者対象の行政サービスをまとめた全146ページにわたる冊子を作成。全9章の内容は、理解しやすく丁寧な説明・仕上がりで便利。

まとめ

男性高齢者の社会参画を



根岸委員

人生100年時代に生涯現役で活躍するためには、健康・介護・生涯学習・就労支援といった長野市が展開する横断的な高齢者施策が必要不可欠である。また、各講座などへ特に男性高齢者の参加を促す工夫や、活動拠点の充実を求める。



市民活動の機会と場所を提供する複合施設



復興までのプロセスと災害への「備え」を学ぶ

総務

厚生文教

経済建設

これまでそしてこれから



Gikai's eye

過去の調査研究から施策の実現へ

3常任委員会の調査研究から町への提言・要望につなげることで、実現した事業や取組は数多くあります。以下は一例です。

シティ・プロモーション事業

平成30年1月 栃木県鹿沼市のプロモーション事業「いちご市プロジェクト」を視察

【実現】 地方創生関連事業として取り組んでいる「小川町SDGsまち×ひとプロジェクト」の中で、プロモーションブックを発行。体験・参加型の事業展開で、関係人口の創出に寄与している。

伴走型の中小企業支援

令和元年11月 静岡県富士市産業支援センター「f-Biz(エフビズ)」を視察

【実現】 エフビズを手本とした「埼玉県よろず支援拠点」の支援を受け、週に1回経営相談を実施(令和2年4月~)。町商工会でも「ビジネスのお困りごと相談会」を令和4年4月からスタート。

特色ある教育

平成23年11月 長野県富士見町「小中学校統合」・長野県信濃町「小中一貫校」を視察

平成29年11月 長野県佐久穂町「施設一体型小中一貫校」・長野県中野市「小・中学校統廃合」を視察

【実現】 「おがわ学」の構築・深化が進む。少子化の中で、町立学校と県立小川高校の児童生徒が連携し、地域資源を題材に各教科と関連付けた授業を実践。

当時、町に要望したことが事業化され感慨深いです。今後も住民のため、研鑽に励んでください。(松葉幸雄 元総務常任委員長・下小川二)



研究テーマ等
大戸副委員長

ゼロカーボンシティにつなげる ZEB化と森林管理

- 「環境省」主催のWEB会議に参加。環境配慮型の建築物の重要性に触れた。
- 森林資源の適切な整備・管理・活用について「小鹿野町」の取組を学んだ。

ポイント



既存建築物の「ZEB化」

省エネ化でエネルギー消費を50%削減。太陽光発電設備等の導入で光熱水費の大幅削減を見込む。

本多委員

※ZEB…Net Zero Energy Building(ネット・ゼロ・エネルギー・ビル)の略称。快適な室内環境を実現しながら、建物で消費する年間の一次エネルギーの収支をゼロにすることを目指した建物のこと。

ポイント



稲村委員

「森林環境譲与税」の活用

同税を財源に適切な森林整備を。埼玉県中央部森林組合等との連携が重要。

まとめ

特色を生かした多角的な取組を



笠原(規)委員

建築物のZEB化は、単に「環境」という部門にとどまらず、所管を超えた柔軟で多角的なアプローチが必要である。また、ゼロカーボンシティ宣言をした当町は、その実現に向けた取組について、町外にも広く発信し、実践していくことが求められている。

ポイント



「地場産材」を生かした新庁舎の建設

環境配慮型の新庁舎。平角組立柱を用いて大規模な木造建築を実現。

五十嵐委員



令和5年3月20日に開庁した小鹿野町役場

次ページは予算特集

議会が注目した事業 96億 「継承」と「創造」 9000万円 (前年度比3.3%増)

じわじわと進む少子高齢化と人口減少、物価高騰や公共施設の老朽化、課題が山積する小川町。新町長の下で初めて編成された令和5年度一般会計予算からピックアップ。



子供たちは、未来の小川町の希望です。18歳まで安心して医療を受けられます。

継続 子育て医療費支給事業

5,013万円 **民生費** の1.5%

子育て世帯の経済的な軽減を図るため、令和5年4月から支給対象年齢を18歳になった年の年度末まで拡大。

継続 地域活性化拠点整備事業

1億5,163万円 **商工費** の45.3%

令和6年12月のオープンを目指し、道の駅の再整備を進める。

有機農家さんから地元農産物の情報発信と商品企画の中心的役割に期待したい。
栗山 健さん(下里二)



期待します

和紙の紙漉き工房と道の駅の建物

伝承します

紙漉き職人さんから和紙の複合的な体験ができる施設になることを期待します。
(左) 若林正良さん
(下) 菊地秀子さん
(右) 浅岡優索さん

継続 まちのキャンパス HIGASHI OGAWA 推進事業

2億2,240万円 **総務費** の15.9%



住宅団地の再生に向けた官民連携による旧東小川小学校・旧上野台中学校跡地の利活用を推進。

4月1日から多くの民間企業が賃貸借契約を結びまもなく活動が始まります

新規 照明灯LED化事業

1億6,369万円 **土木費** の15.1%

道路照明と公園照明をLEDに交換し、省エネ化・脱炭素化を図る。



「ゼロカーボンシティの町」として、一歩前進!

ピックアップ事業

新規 出産・子育て応援事業 1,460万円 **衛生費** の1.6%

妊娠から子育てまで寄り添った相談支援と応援金の支給を一体的に実施。(出産前5万円、出産後5万円)を支給。

新規 成人歯科検診の実施 13万9,000円 **衛生費** の0.02%

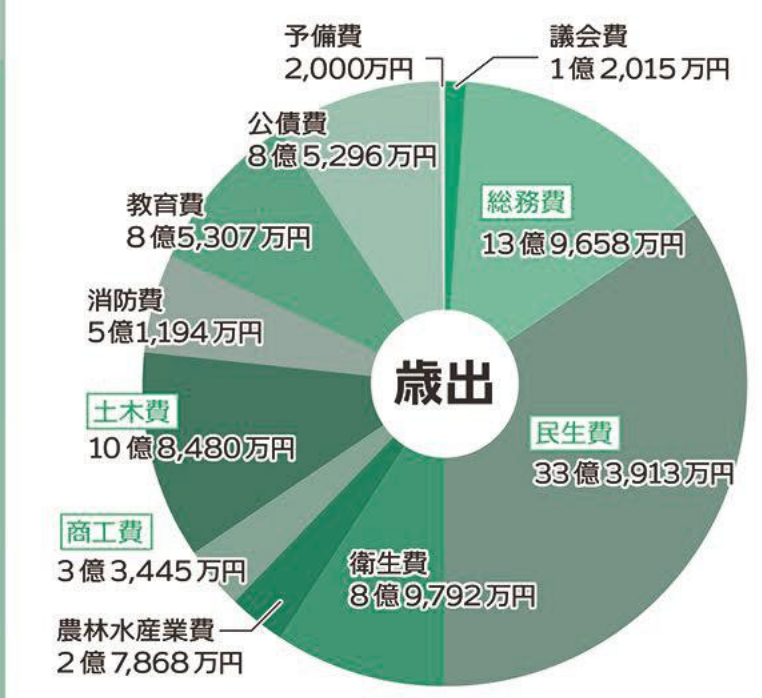
成人歯科検診を実施し、8020(ハチ・マル・ニイ・マル)運動を推進。

継続 デマンドタクシー運行事業 3,652万円 **土木費** の3.4%

公共交通空白地域の解消や高齢者等の外出支援を目的としてデマンドタクシーを運行。

新規 給食センター調理器の購入 4,130万円 **教育費** の4.8%

給食センターの焼き物機、揚げ物機等を更新。



勢いを止めずに 新たな創造を

トップリーダーの交代は、良さを継承し、新たな時代を創造するところにある。

令和5年度の一般会計予算の特徴は、①町の活性化に向けて「道の駅」や「東小川学校跡地」の動きを加速 ②子ども医療費の対象年齢を18歳まで拡大し子育て支援を強化 ③ゼロカーボンシティ宣言の町として道路や公園の照明をLED化 に見ることができる。

しかしコロナ前からの課題である、パトリアのプールの施設転換、リリックの大ホールの改修は見通しも立っていない。また、学校再編の方向は決まったものの安全な通学路やスクールバスの運行などについては今後の大きな課題となる。

未来の小川町を見据え、財政調整基金や地方債の活用を視野に、大胆な予算編成が求められている。

次ページは関連質疑

の1こと
276

令和5年度
一般会計予算
を可決

96億
9000万円
(前年度比3.3%増)

- ①元気に暮らせる、安心して暮らせるまちづくり
- ②知りたい・行きたい・関わりたいまちづくり
- ③持続可能なまちづくり

上記3つの「まちづくり」の実現に向けて編成された当初予算。「ポストコロナ元年」に期待される各種の取組をチェックしました。賛否が分かれた「学校再編」に係る議論も注目です。

3月定例会の会議録は、6月上旬から見られます。二次元バーコードかインターネットで【小川町議会 会議録】と検索



Pick up!

空き店舗活用補助金

最大
100万円

学校再編準備委員会

14人

知っておきたい！この数字

空き店舗活用サポート補助金
制度の拡充でさらなる利活用を

Q 課題に挙がる「空き店舗」の活用につながる取組や展開等は。
A これまでは、改修費と家賃とで最大80万円の補助をしてきたと



えっ
100万円!

私も活用しました。町に素敵なお店が増えるといいですね。阿部孝明さん(錦町)

ころですが、令和5年度からはそれらを100万円まで増額します。また、生活関連業務の中で対象となる「業種」や、立地適正化計画の居住誘導区域の全域に「対象エリア」を「拡大」するなど、補助制度の拡充でさらなる空き店舗の活用につなげていきます。

動き出す東小川学校跡地

Q 国が進める「デジタル田園都市国家構想」の「交付金」等を活用して取り組む「まちのキャンパス—HIGASHI—OGAWA

推進事業」だが、当該施設にサテライトオフィス等として進出する事業者に対して交付される「支援金」の取組などは。
A 同交付金は、地方への新たな人の流れを創出するため、サテライトオフィス等の施設整備・運営・利用促進などの取組を行う地方公共団体や、地元企業と進出する企業が連携して行う地域活性化に資する取組について支援することを目的としています。また「支援金」は、先の交付金を活用して整備された施設への進出が対象となり、町外の法人で5年以上の入居が条件となります。

デマンドタクシーの持続性

Q コロナ禍でも需要が高く、町の負担が年々増加している同事業について見解を。

A 令和4年1月末において、登録者は6592人となり、タクシー事業者への負担金は前年と比

べて12%増の2894万円となっています。利用者のうち60歳以上の方が8割強を占めているので、事業の目的の1つである「高齢者の移動手段の確保」は達成していると捉えています。一方、大きな課題として財政負担の増加があるので、利用者に対して「運行形態

脱炭素の取組を推進

Q 「地域脱炭素移行・再エネ推進事業計画」の策定とは。

A 「脱炭素先行地域」へのエントリーに伴う計画を策定するため、の支援業務をお願いするもので、現在は、その申し込み向け推進チームを発足しています。計画の具体としては、当町の地域課題や将来ビジョン・脱炭素先行地域とする範囲等の概要・取組内容やスケジュール・地域経済循環への貢献・関係機関との連携体制・事業の継続性などです。令和5年8月頃に予定されている募集に間に合うよう進めていきます。

動き出す「道の駅」再整備

Q 令和6年中の完成を見込むリニューアル事業だが、令和5年度の取組は。

A 8月を目処に、現在ある物産館・研究開発棟・外トイレの解体



歯は大切

少しの歯痛は我慢していましたが、これを機に受けてみたいなあ。健康な歯は長生きの秘訣だものねえ。黒澤定廣さん(高見)

歯科検診で健康増進

Q 令和5年度から成人に対する歯科検診が始まるが、期待される効果等は。

A 成人期に多く見られる「歯周病の早期発見・治療」と、歯や口腔の正しいケアを身に付けることで「生活習慣病や介護の予防」にもつながると捉えています。また、引き続き「8020運動」を推進し、歯や口腔の健康づくりについて支援していきます。



スタートから毎年アンケートを実施。改善を重ね事業継続。当初、1500万円であった事業費は今年度3650万円までに。運営方法見直しで持続可能な事業にすることが望まれる。

小川町議会だよりは

町民登場に「タワール」

広い年代の皆さんに、たくさん登場していただきます(裏表紙も)ご覧ください。

歯の健康と児童虐待

Q 早期発見につながる研究会の取組内容等は。

A 過去にあった研修では、児童虐待の現状や、虐待の早期発見・対応に必要なこと等についての説明がありました。中でも、児童の一時保護施設に派遣された歯科医師による口腔ケア支援において「虐待を受けていた児童の口腔内環境はよくないことが多い」「子供の口の中の状況からも虐待の兆候が見て取れる」等の指摘は、虐待にいち早く気づき支援につながる大事な観点になることを学びました。

学校再編の準備委員会

Q 構成する委員や協議の内容は。

A 委員は14人を予定し、その他に学校関係者を含めて構成します。年5回の会議を開催する中で、「通学の安全」「制服や体操着」「PTAの在り方」など、新校の開校に向けて準備を進めていきます。

町独自の学力検査

Q 以前から国や県が実施する学力検査に参加している。改めて町独自の学力検査を行う理由は。

A 国や県が実施する検査は、前年度の学年における学習内容を検査（4月実施）するもので、結果が出るのは7月頃になります。一方、町で行う検査は1月頃を予定し、当該年度の状況を確認するもので、検査結果をもとに補充授業を実施したり、学びの定着を確認したりと「学力の向上」に生かしていきたいと考えています。

山城跡の整備と活用

Q 腰越・青山・四ツ山の各山城跡の保存会が合同研修を行った。今後、町として山城跡の整備や保存会への支援について考えは。

A 腰越山城跡については、令和4年度に散策ルート上の階段を整備しました。また、山頂付近の支障木の伐採は、町職員で行っています。四ツ山城跡も、令和3年度から5か年計画で整備を進めています。各保存会員の高齢化等の状況もあるので、支援については検討していきます。

令和5年度特別会計予算

コロナ禍を乗り越えて動き出す ポストコロナ元年の介護と医療

Q 令和5年度における「国保会計」の保険給付費等の動向・見込みは。

A 令和4年度は、コロナ禍の状況に伴い受診控えから転じて、通院や入院が増えてきた傾向にあり



小川町社会福祉協議会HP

コロナ禍の認知症カフェ

Q 減少した理由は。

A 新型コロナウイルス感染症の感染拡大以前、町内の医療機関及び介護事業所における「認知症カフェ」が3か所、開設されていた。令和5年度の再開見込みについて3つの事業所に確認をしたところ、2つの事業所より「再開は難しい」との回答を受けました。結果、補助金の金額を減額しました。令和5年1月より、小川町社会福祉協議会が認知症カフェを開設しました。令和5年度についても、新たな事業所を開拓して認知症カフェを開設していただけるよう検討していきます。

若者の参加

青山城跡の草刈りを始めて50年以上になります。山歩きの人が増え、山道の伐採も始まりました。若い人の参加を待っています。吉原喜一郎さん（青下畑中）



全国学力・学習状況調査 市町村別結果

小川町合併70周年記念

Q 形式的な式典にとどまらず、中学生などの若い力やアイデアを生かす工夫を凝らした展開を期待するが。

A 記念式典は「実行委員会」において、若い世代をはじめ、あらゆる世代の皆さんとともに作り上げ、祝えるように進めていきます。

出産育児一時金の増額

Q 減額予算となっているが。

A 支給額がこれまでの42万円から50万円に増額となりましたが、出産の見込み数を過去の実績・推移から想定し、前年度比で4人減の「7人分」を見込みました。町全体での出生数が減少している中で、さらにそのうちの国保被保険者に絞られること、社会保険適用の拡大等も背景となり、当該予算は減額傾向にあります。

後期高齢者医療保険の動向

Q 被保険者の増加や今後の運営について見解を。

A 団塊世代の75歳到達が始まり、今後10年間は毎年500人以上が国保等から移行してきます。保険料を上げないためには医療費の抑制が欠かせません。その対策の1つとして、町民・長生き支援・健康福祉の3課で連携し「保健事業と介護予防」の一体的実施事業を開始しています。また、健康診査の周知・啓発を図り、健康寿命の延伸につながる取組を引き続き推進していきます。

充実した補助制度とは裏腹に 進まない市町村設置型の合併浄化槽

Q 合併処理浄化槽整備に係る補助金として、916万円超の大幅な減額が示されたが実績等は。

A 当初、単独処理浄化槽・汲み取り式便槽から合併処理浄化槽への転換に係る補助を、5人槽10基・7人槽10基の計20基分を見込みました。また、配管及び処分に係る補助として、それぞれ20基分を予算化していたところです。しかしながら、令和4年度の実績として、合併処理浄化槽への転換・配管に対する補助が各9基と、処分に係

る補助が6基にとどまった結果、大幅な減額補正となりました。引き続き、補助制度の周知に努めます。

TJライナーの通勤補助

Q 移住者支援の一環として取り組んでいる「通勤者座席指定券の購入補助事業」の減額が示された。移住につなげる効果は。

A 1人当たり最大で年9万円、既存利用者14人と新規対象者5人分(171万円)を見込んでいましたが、コロナ禍の影響で在宅勤務などの機会が増え利用回数が減少し、上限9万円を補助する対象者は0人という状況でした。また、新規対象者については、年度途中や年度後半からの申請だったため、減額するものです。一方で、さきの新規利用者は14人の実績があり、移住定住政策として一定の成果があったと捉えています。

町民の理解が大切



合併浄化槽の補助金や利点についての説明が重要だと思います。
島田好一朗さん(旭町)

その他の条例等

県道本田小川線バイパス 全線開通の影響は

Q 本田小川線バイパスと各町道が交差する箇所について、歩行者に対する安全対策は。

A 通学児童等の横断が多いと考えられるので、押しボタン式信号機の設置が予定されています。ま



八和田公民館へ続く町道と県道バイパスとの交差点。町は「死亡事故ゼロ2566日」を継続中です。(4月16日) 交通ルールをしっかりと守って安全に利用しましょう。



埼玉県 交通事故統計 県警HP

た、立て看板の設置等で注意喚起を図ります。

犯罪被害者等の支援

Q 嵐山町では平成12年に制定されている同内容の条例だが、目的や趣旨を考えると当町においても一刻も早い取組が必要であったと捉えている。条例制定の経緯等は。

A 当町は周辺自治体の状況を確認しながら内容を精査し、実態に即した条例となるように取り組んできました。また、制定に至った背景として、警察署からの依頼等があったこともきっかけのひとつです。

Q 当町において、犯罪被害者等は存在しているのか。また、二次被害の防止につながる効果などについて見解を。

A 平成30年から令和4年までに対象となる事件等はありませんでした。また、二次被害が起らないよう関係機関と連携を図っていきます。これまで国の支援制度として同様の取組があったところですが、認定まで相応の時間がかかり、なかなか見舞金が届かない等の課題があったため、基礎自治体の条例制定をもって支援していくという背景です。

進めぬ空き家対策

Q 関連予算の減額が示されたが、各事業の実態は。

A 「お試し暮らし体験住宅」は、町に寄附してもらった空き家を改修し、移住希望者に賃貸する取組です。当初はその改修費用を見込んでいましたが、令和4年度は結



町に寄附された空き家を改修。お試し体験住宅第1号誕生。当町での暮らしを体験し、移住のきっかけに。



小川町移住サポートセンターHP

果的に寄附がなかったため、予算の全額を減額しました。また「空き家活用促進補助金」ですが、空き家バンクに登録のある物件を購入した際に、その住宅の改修費の一部を補助する制度です。1件当たり最大30万円の補助で5件分を見込んでいましたが、現在まで申請がありませんでした。

議会に関する個人情報取り扱い事務一覧

| 取扱事務の名称 | 収集等の目的 | 対象者の範囲 | 記録の内容 |
|----------------|----------------|-------------|-------------|
| 小川町議会議員に関する事務 | 名簿の作成、連絡調整報酬支払 | 議会議員 | 住所、氏名等 |
| 退職議員に関する事務 | 名簿の作成、連絡調整年金支払 | 退職議員 | 住所、氏名、年金内容等 |
| 傍聴人受付簿に関する事務 | 名簿作成 | 議会傍聴者 | 住所、氏名、年齢 |
| 表彰に関する事務 | 功績表彰審査資料作成 | 表彰候補者 | 候補者履歴 |
| 請願・陳情・要望に関する事務 | 資料作成 | 請願・陳情・要望提出者 | 署名名簿等 |
| 監査請求に関する事務 | 請求者の確認 | 請求者 | 住所、氏名、職業 |

議員提出議案

小川町議会の個人情報の保護に関する条例

背景等
デジタル社会形成整備法のもと、新個人情報保護法では、議会は法律の適用対象から除かれたことを受け、独自に条例制定の必要が生じた。

全質問項目は小川町ホームページから見られます。
議会だよりでは議員ごとに要約版で掲載。全文(会議録)は6月上旬に公開予定です。

12の視点 一般質問

「歩いて・見て・聴いた」ことを踏まえ、議員が自身の提言も交え、町に考えを質す。
今回の一般質問は12人が登壇し、町民の声と願いと想いを届けました。
持ち時間75分の論戦を取り上げます。

皆さんはどのテーマに関心がありますか？



- P.19
森・林・木
- P.18
道の駅整備
- P.18
住みたい田舎
- P.17
介護と医療
- P.17
環境保全
- P.16
安全対策
- P.16
低山ハイク
- P.15
稼げる地域
- P.15
町の景観
- P.14
地域の力
- P.14
LGBTQ
- P.13
学校給食



学校給食

Q 文科省が推進する「学校給食費の公会計化」は、教職員の負担軽減につながる等のメリットが示されているが、取組の方向性は、
A 学校教育課長 会計の透明化が進み、食材費高騰への対応も柔軟にできること等の利便性から、将来的には公会計化を進めていく方向です。一方、町が給食費の徴収を行うには、相応なシステムの導入や、事務に係る人員を要しますので、これらを整理した上で移行することが適切と考えています。
Q 学校給食センターの「老朽化対策」や「今後の在り方」について、令和4年度に実施された調査の結果などは、
A 学校教育課長 今回の調査は、現センターの維持・延命と、新センターの適地選定に絞り、実施し



残さず食べよう「おいしい給食」

給食費の公会計化は 進めていく方向です

ました。今後「学校再編」が進む中、児童生徒数の減少が落ち着いた時点で新センターを建設する方が、規模や各学校のコンテナ・調理備品等の無駄を省け、経費の圧縮が見込めます。また、平成25年に「学校給食センターの在り方に関する検討委員会」から受けた提言のとおり、今後も「センター方式」による給食の提供を考えています。

重度の花粉症で結局しばらくマスクは外せません。
(T・Sさん 39歳)



Vol.21
アフターコロナに向けて
対策はどうしますか？

Mini Interview P18までつづきます！
オガワマチのこと・ギカイのこと
「一緒に見よう、考えよう」

町立学校の設置と管理に関する条例

町立学校の再編スケジュールが決定!!

議論伯仲
賛否両論

賛成 11
反対 4

まちづくり・地域づくりに
大きな影響も

Q 令和11年度における児童数の見込みは、(仮称)東小で359人・12学級・1学年2学級である。また、(仮称)西小は227人で9学級・1学年1または2学級となる。学校再編の基本的な考え方として「クラス替えが可能になり、切磋琢磨する中で多様性に触れ、人間関係の構築が可能になる」といった効果等は、さきに示した規模で見込めると捉えているのか。
A 東側の小学校では、しばらくの間クラス替えができるかと捉えています。西側においては指摘のとおり、正直、難しいと捉えています。しかしながら、再編直前の各小学校の規模と比べ、単級とはいえない程度の児童数・集団を確保する中で、学習はもとよ

り各種の教育活動に臨むことができると考えています。
Q 令和7年度から「段階的」に再編が進む計画となっているが、背景等は、
A 教育環境に配慮する中で、特に教職員の人員配置において、学級数に応じた定数がありますので、急に3中学校を1校にすることや、5小学校を2校にすることは、県費負担である教職員の過員が生じてしまいます。また、一斉に統合する場合、一時的に大きな施設を造ることで、その後児童生徒数が減少してしまつた際に余剰が発生し、財政的な無駄が生じる等の課題も想定されるので、段階的な再編の必要を考えました。

- ①令和7年4月1日：西中と樺台中を統合、樺台中の位置に新中学校設置
- ②令和9年4月1日：竹沢小と大河小を統合、西中の位置に新小学校設置
- ③令和11年4月1日：八和田小と小川小を統合、小川小の位置に新小学校設置
- ④令和11年4月1日：みどりが丘小を西中の位置の新小学校に統合
- ⑤令和12年4月1日：東中を樺台中の位置の新中学校に統合



公開します

議決結果はHPでも見られます→



賛否が分かれた議案

議員の賛否内訳と審議結果

○…賛成 ×…反対 欠…欠席
一印…議長は賛否同数の場合のみ採決に参加します

他13議案は
全員賛成で原案どおり
「可決・同意・承認」しました



| 議案名 | 議員名 | 稲村 壤治 | 鈴木 秀尚 | 笠原 英彦 | 高橋 功人 | 笹本 孝幸 | 五十嵐 康博 | 高橋 さゆり | 本多 重信 | 高瀬 勉 | 井口 亮一 | 笠原 規弘 | 島崎 隆夫 | 田中 照子 | 大戸 久一 | 根岸 成美 | 山口 勝士 | 審議結果 | |
|-------------------------------------|------------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|----|
| 町道路線の認定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 犯罪被害者等支援条例制定 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 町立小学校・中学校設置及び管理に関する条例の一部改正 | | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | × | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正 | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 令和4年度介護保険特別会計(保険事業勘定)補正予算(第4号) | | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 令和5年度当初予算 | 一般会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| | 国民健康保険特別会計(事業勘定) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| | 後期高齢者医療特別会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| | 介護保険特別会計(保険事業勘定) | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |
| 水道事業会計 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | - | 可決 |



LGBTQ
たかはし さゆり 議員
が町に問う！
パートナーシップ
制度導入は

答弁 比企地域連携で
導入に向け検討中です

Q 性的少数者など、LGBTQのカップルを公的に認めるパートナーシップ制度は、県内市町で導入が進んでいるが、当町の進捗は。
A 総務課長 パートナーシップ制度を有効に運用し、制度利用者の利便性を高めるためには、広域で取り組むことが望ましいと考えています。比企地域で連携した導入に向け、検討を進めています。

A 総務課長 行政サービスは、所得課税証明書や納税証明書の交付、公営住宅へ家族として入居、公立保育園や学童保育の保護者としての送迎などが考えられます。そのほか、医療機関等における各種手続等で、親族と同様の対応が可能になります。広域連携が行われることにより、当事者の申請手続負担等も軽減されます。

Q 制度実施に向け、当町も準備を進めていると理解した。実施時期はいつになるのか。
A 総務課長 令和5年度のできるだけ早い時期に実施できるように取り組めます。
Q 実施された際、LGBTQは当事者にどのようなメリットがあるのか。
※令和5年4月1日から制度開始



当事者等の相談窓口を担う総務課



地域の方
たかはし くにただ 議員
が町に問う！
地域のボランティア
に支援を

答弁 「検討チーム」を
立ち上げました

Q 令和4年度の森林環境譲与税は主に何に使われたのか。
A 環境農林課長 木材普及啓発活動として、保育施設に町産材を活用した積み木を贈呈しました。また、小規模林業者への支援事業、未活用の資金は「森林環境基金」に積立しています。

ているが、町はこうした自主的なボランティア団体を積極的に応援できないのか。
A 町長 「アクティブシニア」と呼ばれる皆さんがいろいろなボランティア活動を行い、地域に貢献しています。現在、そうした団体の支援策について「検討チーム」を立ち上げ、具体的な検討を始めました。

Q 比企地域の農業用ため池農法が「日本農業遺産」に認定されたが、森林環境譲与税を今後の活動に活用できないか。
A 環境農林課長 ため池や谷津田の整備は「日本型直接支払い制度」を活用し、支援していきたいと考えています。
Q 里山や森林の維持管理活動に限らず、地域の有志がボランティア団体を立ち上げ、地域課題の解決に向けて活動を続け成果を上げ



荒れた里山の再生に挑むボランティア



町の景観
たなか てるこ 議員
が町に問う！
モデル地区
終了後の取組は

答弁 景観まちづくりの
活動を継続します

Q 県の「歴史の道景観モデル地区」の今後と町の対応は。
A 都市政策課長 県の景観モデル地区事業は今年度で終了しますが、この取組は町の魅力創出の可能性を持ち、非常に有益であると捉えています。今後も引き続き、県やNPO法人の協力をいただきながら、景観まちづくりの活動を継続していきます。

いく、としています。まずは、関係各課と登録有形文化財として登録する範囲を検討し、当町における和紙産業・文化の拠点として、整備内容の検討を進めていきます。
Q 景観町歩きにご協力いただいている地域住民に感謝の気持ちを。
A にぎわい創出課長 参加した方の感想などとともに、気持ちを伝えることは大切だと思います。

Q 歴史的建造物の「和紙体験学習センター」の保存活用を。
A 生涯学習課長 当施設は、昭和初期の建物の様子を伝える全国的にも貴重なものです。令和元年に策定した「和紙の有効活用による町の活性化計画」において当施設は「産業文化の拠点」として位置づけ、職人の後継者育成・和紙を活用した製品の開発等を進めて



公民館活動と連携した住民との町歩き



稼げる地域
いがらし やすひろ 議員
が町に問う！
事業の継続に
必要な支援を

答弁 意見交換を行い
必要な支援につなげます

Q 「新しいチャレンジができる町」としてお店が増えていく流れを止めないために、どのようなことができるか。
A にぎわい創出課長 令和5年度当初予算において、空き店舗活用補助金の増額と、対象エリアや職種の拡大を提案しました。また、今までの例として、人と人のつながりの中で事業が発生していることから、情報交換や交流の場として、NESTOや旧上野台中学校のワークスペースを有効活用していきたいと考えています。

に重要だと考えています。そのためには町への人の流れや、お客さんの流れをつくるのが大切です。あわせて、新しく事業を始めた方、また従来から事業をしている方と意見交換をしながら、皆さんが何を求めるのかを注意深く探っていき、必要な支援につなげたいと考えています。

Q 事業が継続するためにも、何が重要と捉えているか。また、そのために必要な支援を。
A にぎわい創出課長 事業の継続には稼ぎが必要です。そこできかに収益を上げてもらうかが非常



新しい挑戦で明るくなった駅前通り

小川町議会だよりは

見出しに「コダワル！」

内容が一目でわかり、記事を読みたくなる見出しをつけます。

つづく！
免疫力をアップするために、長風呂、早寝早起きを実行します。(H・Mさん 68歳)

私は感染はしないとって、最初から対策はしていません。(F・Mさん 72歳)

まだ心配なので、マスクとアルコール消毒は続けます。(I・Yさん 72歳)

感染は心配ですが久しぶりの花見で盛り上がりました。(Y・Sさん 78歳)



低山ハイキングコースを

ふじやま 富士山にハイキングコースを

安全対策 中学生の自転車通学の安全を

答弁 ルートの変更を含め様々な角度から研究します

Q 「おがわ学」は県立小川高校との結びつきを感じるが。

A 学校教育課長 フォーラムを小中高の連携プロジェクトとして実施しました。町民の皆さんの協力を得て「知る」学び「活かす」の体験学習を展開しました。

Q 高校裏の「富士山」に登ると眺めることができる南北に広がる景色は素晴らしいが。

A 健康福祉課長 眼下に見える高校をたどり、日光を浴びながらの山歩きは、睡眠の質向上など心身のリフレッシュに役立ち、適度な運動にもなります。

Q この周辺には、地層や鉱物の露出が見られ、地学部のフィールドワーク、また松尾芭蕉の句碑があるなど学びのコースだが。



富士山方面から見降ろす中心市街地

A 生涯学習課長 生涯学習の一環として、散策しながら説明を聞く自然観察会を実施する際は、この地域を候補地の一つとして提案したいと考えます。



通勤時間帯は様相が変わる114号線

Q 小中学校再編計画では、令和12年には多くの中学生が自転車で現樟台中学校に通学することになる。どのような安全対策を考えているのか。

A 学校教育課長ほか 町道109号線を自転車通行するのは危険であるため、「自転車通行可能な歩道」に指定できるか協議します。現在歩道のない町道114号線に「自歩道」を整備することは容易ではなく、ルートの変更を含め様々な角度から研究します。

Q 消防団への支援の継続を消防後援会はどのような活動と支援をしてきたのか。

A 防災地域支援課長 活動に必要なレインコート、資機材等の購入や、長時間出勤した際の軽食支

Q マスクに関しては、外す外さないを強制せずに、それぞれ自分のタイミングで外していけたらいいと思います。(N・Mさん 24歳)

Q 今まで我慢してきた分、これからはいろんな町に旅に行きまくりたいなあ！(J・Tさん 34歳)



環境保全 町の進むべき方向性は

答弁 開発と自然環境との調和に努めます

一体的システムの構築は

Q 大規模開発に当たつての基本コンセプトは「当町の自然を活かす」ということでしょうか。特に「さいたま小川町メガソーラー」の森林伐採、山の改変についてはどう考えるか。

A 環境農林課長 小川町第5次総合振興計画に「自然と文化を活かしたまちづくり」を掲げており、「さいたま小川町メガソーラー」建設予定地はレクリエーションゾーンに位置づけられ、「周辺の自然環境との調和に努める」としています。開発事業者に対し、「自然環境との調和」に努めるよう求めています。

Q 大規模開発を止めた事例を見ると、首長の決意によるところが大きい。改めて町長の考えは。

A 町長 事業者から住民へ納得



自然環境との調和を

のいく説明が行われ、合意形成がなされることが必要です。それがなければ、町として賛成できません。

Q 臨時教員の確保と給食センターの今後は。

A 学校教育課長 臨時教員の確保は難しい状況です。給食センターについては総合的に考えます。



介護と医療 一体的システムの構築は

答弁 多職種間の連携と強化を図ります

Q 超高齢社会の中で、医療や介護が必要な状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしができるよう、一体的に提供されるケアシステムの構築と環境整備が喫緊の課題だが。

A 長生き支援課長 比企地区9市町村の医療介護関係者で連携推進協議会を設置しています。地域連携シートや医療介護の情報共有ツールの作成、地域住民への講演会などの取組を通じて、多職種間の強化を図っています。

Q 介護・医療の両保険制度が持続するためには。

A 長生き支援課長 令和7年に団塊世代が75歳以上となり、介護給付総額が創設時の約3倍、保険給付費等も増加すると予想されます。令和4年より高齢者の心身の



介護医療連携は人々の尊厳を支援する

多様な課題に対応し、きめ細やかな支援を実施するため、保健事業と介護予防の一体的実施に取り組んでいます。また必要に応じ、適正な医療の受診へ導く等、医療面の健康支援も可能となります。さらに効果的な介護予防の実施で健康寿命の延伸につなげることが重要と考えます。

小川町議会だよりは 文字にコダワル！ 高齢者や視覚の弱い方にも読みやすいユニバーサルデザインフォントを使用します！

つづく！ 方針が出されているので、それを基本とします。これからは、いろいろと楽しみます。(M・Bさん 50歳) TPOに応じて、柔軟に行動します。これからは、お互いに顔も見られて安心しますね。(A・Mさん 68歳) マスクに関しては、外す外さないを強制せずに、それぞれ自分のタイミングで外していけたらいいと思います。(N・Mさん 24歳) 今まで我慢してきた分、これからはいろんな町に旅に行きまくりたいなあ！(J・Tさん 34歳)



小川町議会だよりは

写真に「コダワル！」

写真は編集委員が

「撮る」「選ぶ」。キャプション(写真説明)も工夫します。

Q 森林環境譲与税を使った森林管理計画の進捗と今後の人材育成について。

A 環境農林課長 15年間の目安に1260ヘクタールを意向調査しますが、3年間で490ヘクタール終了しています。その中では、7割を超える森林所有者から「山の管理を委託したい」との意向がありました。これと同時に森林組合と森林資源カルテを作成し、管理に向けた準備を進めています。また人材育成は、今後の計画において重要ですので、計画的に進めていきます。特に、全国でも育成が進む小規模自伐型林業については、本年度から小規模林業体支援補助金を開始しました。

Q 関係人口増を目指し、不耕作地利用や町有地並びに協力いただいた



しまざき たかお
島崎隆夫 議員
が町に問う！

植樹で関係人口の増加を

答弁 管理などについて課題があるので研究します



不耕作地にならないように花木を植樹

ける土地への指定花木の植樹を推進しては、これにはクラウドファンディングやふるさと納税返礼、森林環境譲与税などで財源の確保は。

A 政策推進課長 財源についてはどれも可能性がありますが、ただし、土地や実施後の管理については課題がありますので、今後研究していきます。

一部事務組合議会から報告

一部の行政サービスを複数の市町村が共同で行うための団体が一部事務組合です。構成市町村の議会から議員を選出しています。

消防・救急・斎場の管理運営・介護・障害審査会・公平委員会

比企広域市町村圏組合議会
(令和5年2月10日)

消防指令業務の共同運用

令和5年度一般会計及び各特別会計の総額は39億8,500万円(小川町の負担額は4億9,800万円)。令和6年度からの消防指令業務の共同運用※に向けてシステムの整備等が図られます。複数の消防本部が協力し、指令業務を行うことで「災害時の相互応援」や「業務の効率化」及び「更新・維持管理の費用削減」が期待できます。

※埼玉西部消防局、坂戸・鶴ヶ島消防組合、西入間広域消防組合

ごみ処理・し尿処理

小川地区衛生組合議会
(令和5年2月20日)

可燃ごみ処理に関する基礎調査

令和5年度一般会計の当初予算は15億8,600万円(小川町の負担額は約4億5,700万円)。令和4年度から10年契約で始まった可燃ごみ処理の民間委託ですが、現況把握と課題などを整理し、委託期間終了後の「処理方法」や「処理場(中爪地内)の解体及び跡地利用」について、「基本方針」を定めるための調査に早速、着手します。



いなむらじょうじ
稲村穰治 議員
が町に問う！

住みたい田舎の確保を

答弁 地域おこし協力隊制度を活用します

Q 住みたい田舎ランキング(田舎暮らしの本2月号)で首都圏第3位。注目を浴びている当町だが、全国の小川町ファンの需要にこたえるべく、今一度尽力すべき時である。住みたいという需要に対し、物件の数が足りていないという声を聞くが。

A 政策推進課長 移住サポートセンターは、現在相談対応等が増えている。物件の洗い出しに時間がかかれない状況です。その対策として、地域おこし協力隊制度を活用し、対応を図ります。物件の確保は、すぐには解決できませんが、今後も移住サポートセンターと連携しながら考えていきます。

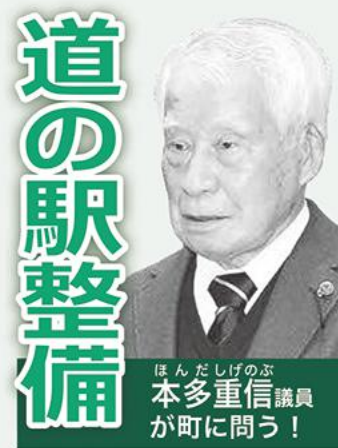
Q リニューアルを予定している



住みたい田舎として注目を浴びる当町

道の駅。虜になるような仕掛けや、「映え」要素をつくり出すことが必須と考えるが。

A にぎわい創出課長 再整備後の道の駅は、観光の拠点となるものです。水辺deベンチャーチャレンジ事業との連携も含め、思わずSNSで発信したくなるような要素も意識して、再整備を進めていきます。



ほんだしげのぶ
本多重信 議員
が町に問う！

道の駅整備

答弁 旧上野台中の一部を確保します

Q 直売所の仮店舗が注目されているが。

A にぎわい創出課長 旧上野台中学校の校舎の一部を活用し、可能な限り販売面積は確保します。

新型コロナ対策

Q オミクロン株×BB1・5の流行で高齢者の死亡リスクが高まる中、国は5類への引き下げを明らかにした。自己負担で受診抑制が懸念されるが。

A 健康福祉課長 急激な負担増とならないように、期限を区切り一定の公費支援を継続します。ワクチンは法に基づき実施し、必要な接種は自己負担なく実施します。

歴史や文化を大切に

Q 飯田の炭鉱は明治7年採炭が



自然・歴史・文化を守る小川町に

始まり、非常に古いと評価されている。町経済と町民生活を支えた産業遺産として顕彰すべきと考えらるが。

A 生涯学習課長 炭鉱は戦後まで稼動した跡地であることは認識していますが、落盤事故の発生や、その後の住宅地等の開発により、当時の建造物等の遺構が現存していないため保存は考えていません。

よく食べて、よく寝ます。
(M・Mさん 30代)



引き続きオンラインを活用します！
(M・Kさん 30代)



Back to おがわぎかい No.106

議会だよりを読んだ感想を議員がインタビュー



身近に感じるようになった

川村舞固さん (東小川3丁目) KAWAMURA Maiko

前号 (No.106) を読んだ率直な感想を

子供議会の記事では、小中学生の質問がとても具体的で鋭く、観光、生活、環境など幅広い内容にわたっていて、感心しました。

一ズバリ、議会・議会だよりにひとこと

議会だよりは以前に比べてデザインも見やすくなり、町民のインタビューや写真が多くなり、身近に感じるようになったと思います。



川村さんイチオシの記事は P.4~5 「子供一般質問」



Gikai's comment
106号の誌面づくりには特に時間をかけて編集しました。次回号もご期待ください。

わたしのコメント
町民の声、「聴きます×しなごます」

だから 小川が好き!

町への想いを寄稿していただくコーナー

ビバ 小川町

柳下晃美さん (旭町)

YAGISHITA Akimi



移住したら?のお誘いに「とんでもない。ここから会社に通うのは無理でしょ」と言っていた私が、意を決して移り住んだのが7年前。幸い駅近の、造り酒屋の煙突が丸見えで都会の2分の1の家賃で2倍の空間に居を構えることができました。都会で生まれ育ち、自然に憧れを抱いていたゆえ、隣村の飲めそうなほど美しい川で泳ぐ幸福感にアドレナリン爆発! 月1回の里山クラブで長老たちの生きる術と知恵を拝借、有機野菜に舌鼓を打ち、太陽の下、豊かな週末を過ごしています。池袋から1時間ちよい。こんな楽園、皆さん知っていました!?

(応募318紙中)

議会広報全国コンクール 全国第7位 優良賞受賞!

1年に1度、全国の町村を対象とした議会広報の全国コンクールがあり、小川町議会では毎年挑戦しています。編集委員会では、毎号熱い議論が交わされ、その結果としてある程度の評価をいただける紙面づくりができてきたのではないかと思います。めざすは「1人でも多くの町民の皆さんに読んでいただける広報づくり」です。



受賞号はこちらから読めます

次の定例会は 6月6日(火)~ 午前10時開会

※日程は変更になる場合があります。詳しくは小川町ホームページへ



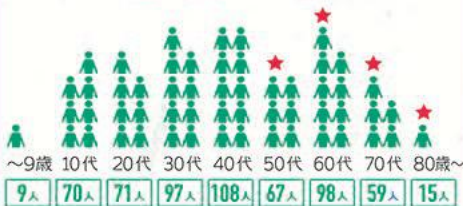
議員の

議員がインタビューした町民皆さんの数 ※No.80~以降の合計人数

聴く×つなぐ

※★印は今号取材

594人



●今号の表紙●

豊かな感性の育成

特色ある保育で毎日、泥んこになったり、自然と触れ合ったりと元気に遊ぶ園児達。そんな中で、子供達の自主性や豊かな感性を育てています。

編集後記 今号の編集会議は、統一地方選挙前半が繰り広げられる中で進められた。女性議員の当選者数は全国で316人、埼玉県では15人とともに過去最多であった。議会広報でも、もっともっと女性や生活者の視点を大切にして編集に努めたい。(田中)

発行責任者：小川町議会議長 山口勝士

編集：議会広報発行特別委員会

委員長 高橋功人 副委員長 田中照子
委員 高瀬 勉・笹本孝幸・五十嵐康博
稲村壤治



高齢者や視覚の弱い方にも配慮したUD (ユニバーサルデザイン) フォントを使用しています